



南 雲 正

一般質問

安心安全な観光の町 PRと観光資源の発掘、 学力向上に対する 取り組みを求め

大型観光キャンペーンの実施、全国規模の大会、イベント等の誘致で「安心安全な観光の町湯沢」のPRを

質問

大震災以来、客足は止まり、回復には1、2年かかるという指摘もある。外から人が来て初めて経済が活性化するわが町にとっては、全国の観光地が復活に向けたキャンペーンを実施している中、一日も早く「安心、安全な観光地湯沢」を外に向けて発信しなければ、観光を基幹産業とするわが町の存亡も危惧される「町づくり基本条例」の精神を受け、町、議会、町民、事業者が一丸となって協働というパートナーシップの下で、大型観光誘客キャンペーンの実施や来年2月予定されているスキーモーグルのワールドカップ苗場大会や平成26年の全国植樹祭等の誘致に取り組み、「安

心、安全な観光の町湯沢」のPRを全国に発信すべきと思うが町長の考えを伺う。

町長答弁

漸く経済の向上き情報も入ってきている。町経済復興対策委員会の協議を得て、「安全安心な観光地湯沢」のPRを行っている。モーグルのワールドカップは湯沢スキー100年に合わせて開催したい。関東圏に向かっての大々的な観光宣伝は例年やっている。

質問

社会の経済動向に影響されない歴史文化を基盤とした観光資源の発掘を
三保宿歴史街道による活性化。

清津川ダム中止以来9年、観光拠点となる道の駅が、来年秋にオープン予定である。道の駅の魅力だけで観光客を呼び込む事は困難である。県指定文化

財「三国街道脇本陣池田屋」を活用し、道の駅から池田屋を繋ぐ三国街道三保宿としての歴史文化を基盤とした魅力付けを図るべきである。この広い街道筋を活用すれば、地域に新しいビジネスチャンスも生まれる。

町長答弁

三保地区街並み環境整備事業は、歴史的街並み空間の形成と統一的な景観整備を目指しており、池田屋周辺の歴史的な街並みと調和した整備を今年度から実施する予定である。

質問

湯沢駅東側地域の活性化に童画美術館建設を

湯沢に生まれた童画文化を町づくりの核に、世界に発信する拠点として湯沢駅東側に童画美術館を建設すれば、駅から観光客が外に出る動線が確保され、人が動き、周辺にはビジ

ネスチャンスも生まれる。雪国館の川端康成と雪国の世界を繋ぎ、駅から観光客が外に出て湯沢の風を感じながら、世界に誇る「雪国」と「童画」の世界が楽しめるコースが設定でき、文化を活かした観光資源となる。選挙公約でもあったはずである。

町長答弁

選挙公約ではあるが、私が得た情報が間違っていたということの方角転換した。今はやるとは言えないと、はっきり述べておく。

三国峠の山頂に休憩所を

質問

三国峠山頂には、休憩所として利用され、峠を越す人たちの守り神として信仰されてきた社があるが、風雪にさらされ崩壊状態にある。シニア層に登山人気上昇する中、歴史上の人物が往来した由来に基き、湯沢の歴史遺産に相応しい休憩所を整備し、三国街道のシンボルにする事も新たな観光資源となる。

町長答弁

三国権現の歴史的背景から氏子が主体となって修復する事が原則である。別棟で休憩所

を建築するとしても、冬季の維持管理が難しく、今後の研究課題としたい。

全国学力テスト結果の公表と学校統合に向けた特色ある教育への取り組みを

質問

昨年の全国学力、学習状況調査では、小学6年生で受けた子ども達が中学3年生として受ける事になり、その結果が目撃されたが、全ての科目で全国平均より低く、小学校時の結果から、全く向上が見られなかった。結果を公表し、地域ぐるみの取り組みが必要ではないか。学力向上に合わせて学校統合に向けて特色ある教育の導入も考える必要があるのではないか。

教育長答弁

学力テストで測定できるのは学力の特定の一部である事や学校における教育活動の一側面に過ぎない。序列化や過度の競争に繋がらないよう配慮するよう定められた文部科学省の実施要領に従い、公表しない方針を採っている。

湯沢町独自の特色ある教育の実施については、正にその機会として捉えて対応したい。